

令和7年度銚田地域農業学園第7回講座及び閉講式を開催しました

令和8年度2月17日（火）に銚田合同庁舎において、令和7年度銚田地域農業学園第7回講座及び閉講式を開催し、農業学園生等8名が参加しました。

講座では、農作業安全をテーマに、「農作業事故の現状と事例」の講義と、VR機器を用いた農作業事故の疑似体験をしました。

講義では他産業と比較して事故死者率が高いことや、実際に発生した事故事例について、写真や動画を用いて説明しました。

VR体験では、5つの農作業事故（トラクターの転倒、コンバインの手こぎ作業時の巻き込まれ、刈払い機によるけが、脚立からの転落、歩行型耕うん機と壁等への挟まれ）を疑似体験していただきました。体験後は、恐怖を感じた点、今後気を付けたい点などを共有するグループワークを行い、事故防止のために取り組みたいことについて決意表明をしてもらいました。出席者からは「農作業事故の現状について初めて知った内容もあり、VR体験をすることができて理解が深まりとてもよかった」「実際に起こった場合は損が多い。日々の作業から見直したい」などの意見が聞かれました。

閉講式では、今年度の農業学園全体の振り返りを行いました。出席者からは「農機メーカーの見学が勉強になった」「土づくりについて、もっと深く知りたい」といった感想を聞くことができ、今年度の農業学園が受講生にとって有意義な講座となった様子でした。

今後も当部門では、新規就農者等の経営発展に向けて支援を行っていきます。

銚田地域農業改良普及センター（担い手）



講義の様子



VR体験の様子